

式 辞

冬の寒さもようやく和らぎ、梅の香りに春の息吹を感じるこの佳き日に、安中市長様、教育長様、PTA会長様、そして学校運営協議会の皆様のご臨席のもと、記念すべき安中市立松井田中学校「第1回卒業証書授与式」が挙行できますことは、大きな喜びであり、深く感謝申し上げます。

ただいま卒業証書を授与されました63名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。9年間の義務教育課程を修了し、この松井田中学校の最初の卒業生として、新たな一步を踏み出すみなさんを、心から祝福します。

さて、みなさんの中学校生活は、たくさんの喜びとともに、様々な試練が待ち受けていた3年間でした。平成2年4月7日、みなさんは、それぞれ松井田東中学校、松井田南中学校の門をくぐり入学しました。しかし、みなさんを待っていたのは感染症対策による、次の日からの約2か月間の臨時休業、学校行事等も縮小・中止など、様々な学校生活の制約でした。それでも、みなさんはその困難に立ち向かい、コロナ禍だからこそ学ぶことのできた「当たり前前の生活への感謝」の気持ちを育み、立派に成長してくれました。これから先、みなさんの人生には、きっと何倍もの素敵な時が訪れるに違いありません。私はそう信じています。

みなさんにとって最大の試練が、両校の統合だったのではないのでしょうか。統合前年度、希望の光となったのが、中体連新人大会での、女子バレーボール部、合同チームの安中市大会優勝でした。学校統合におけるメリットの一つを、私たちに強烈に印象付けてくれた出来事でした。

不安を抱えながら迎えた昨年4月7日、生徒数は2倍に増え、みなさんにとって中学校生活初めてのクラス替えも行われました。開校式では、私からみなさんにこんな話をしました。「いつかみなさんが大人になった時、私たちが中学生の時に開校した学校だと、笑顔で語り合えるような誇れる学校をつくっていきましょう。」私の話を聞いてくれたみなさんの表情は、真剣そのものでした。その日からみなさんの新しい歩みが始まったのです。

昼休みには校庭で元気に遊ぶ姿、校長室前を通るときには、元気よく「おはようございます。さようなら。」と手を振ってあいさつしてくれるみなさん。生徒会本部役員は、「Keep moving forward together ～前進し続ける～」を活動のスローガンに掲げ、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇〇さんの2人の生徒会長を中心に、よりよい松中の伝統を作り上げていきたいという意気込みで、全校生徒の先頭に立ってくれました。

6月に行われた校内陸上記録会では、2か月前まで別の学校で生活していたみなさんが、互いに一生懸命応援し合う姿が見られました。振り返ってみると、これがみなさんの絆を深める最初のきっかけになったのではないかと思います。

翌週に実施した修学旅行では、令和元年度の3年生以来、3年ぶりに奈良・京都方面に出かけることができました。日本の古都を訪れ、古のロマンに思いを馳せ、楽しくて、楽しくて、食事の時に先生方から注意を受けても、すぐにまたしゃべってしまう。感染症対策から見ればNGですが、楽しい会話が飛び交う状況に、みなさんの心が打ち解けてきていると感じました。コロナ禍の収束が見えない中、生徒たちを送り出してくださった保護者の皆様には感謝の気持ちで一杯です。

学校生活では、活気のある授業をはじめ、少年の主張、英語弁論大会、吹奏楽のコンテスト、作文、ポスター、標語、習字など、様々な場面で力を発揮してくれました。部活動の大会やコンクールでの活躍も目覚ましく、女子バレーボール部、女子卓球部の県大会出場をはじめ、西部地区吹奏楽コンクールでは、部員の思いが込められた素晴らしい演奏で目標の銀賞を受賞、駅伝競走大会では他校を圧倒する力走で松中旋風を巻き起こしてくれたほどです。体育館の西側には、所狭しと横断幕が並びました。各部の活躍の陰には、美術部からプレゼントされた応援旗の存在があったことも忘れてはなりません。

時は流れ、10月に行われた校内合唱コンクール。2学期に入ってからコロナ禍の状況は厳しく、マスク着用で合唱という苦渋の決断の中、松井田文化会館のステージに上がったみなさんは、とても輝いて見えました。この日まで校舎内に響いていた歌声が懐かしくよみがえります。たくさんの涙を乗り越えてたどり着いた、心を一つにしての圧巻の歌声でした。

新たに創刊の運びとなった生徒会誌「松麓」では、「誰かに、どっちが母校なの？と聞かれたら、どっちも私の母校だよと、胸を張って言いたいと思います。」と書いてくれた生徒がいました。この学校統合の先頭に立ってくれたのは間違いなくみなさんです。みなさんだから成し遂げることができたのです。受験期に統合という、最も不安を抱えて開校を迎えたみなさんが、試練を乗り越えて大きく成長し、新たな学校づくりの礎を築いてくれたと思っています。みなさん一人一人の功績は、この新しい学校の歴史とともに、永遠に語り継がれることでしょう。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠にありがとうございます。本当にいろいろなことが頭をよぎる3年間でした。ね。最後まで私たちを信じて、お子様を預けていただき、ありがとうございました。心より感謝とお祝いを申し上げます。

卒業生のみなさん、思い出は尽きませんが、いよいよお別れの時が近づいてきました。ステージ上方の新調された緞帳には、校章作成プロジェクトによって誕生した本校の校章が目にとまります。この校章は、自然豊かな松井田町で学んだみなさんが、未来に向かって力強く羽ばたいていく様子を、〇〇〇〇さんがデザインしてくれました。共に支え合った仲間との思い出を胸に、みなさんの夢と希望を翼として、大空へ羽ばたいていってください。そして、みなさんの目の前には、いつでもスタートラインを引くことができるということをお忘れずに。卒業生のみなさんの健康と明るい未来に幸多からんことを願い、式辞といたします。